

日本共産党東京都議会議員団

文教委員会理事／オリンピック・パラリンピック特別委員

とや英津子のニュースレター

TOYA ETSUKO Newsletter



事務所：練馬区桜台1-6-11 TEL:03-6324-8060

HP [とや英津子](#) 検索ください

都民とともに動かししました。



小池都知事に予算要望書を手渡す共産党都議団。とや英津子都議は左から2番目（2022年12月22日都庁にて）

いま物価高騰とコロナ禍から都民の命と暮らし、営業を守り抜き、経済を立て直すことが急務です。

その立場で、東京都の23年度予算を編成するよう小池都知事に昨年12月、約2,350項目の予算要望書を提出しました。（写真左）

2月15日から都議会第一回定例会が始まりました。予算案は、今年度よりさらに5700億円増え予算規模も過去最高。しかし、ひと握りの大企業や富裕層は豊かになる一方で物価高騰やコロナ禍で苦しむ人に必要な支援は届いていません。こうした中でも都民の声と運動、日本共産党都議団の論戦が、都政を大きく動かしています。

23年度予算で実現へ

● **全ての子(18歳までに)月額5千円分支給**

● **都立大学の授業料^{24年度から}実質無償化**

● **私立中学の授業料^{年間}10万円助成**

共産党都議団が繰り返し求めてきた現金給付・所得制限なしが実現し、18歳まで所得制限なしで月額5千円分の支給へ。また都立大学の授業料実質無償化は年収910万円未満対象で、2024年度開始に。私立中学に通う家庭への10万円給付は、国の給付事業が縮小される中で、復活を求めてきました。

● **「感震ブレーカー」無償配布**

地震の際の通電火災を防ぐ「感震ブレーカー」が、木造住宅密集地域に無償配布されます。

● **痴漢被害の実態調査実施など**

痴漢被害実態調査や庁内チームによる「痴漢撲滅プロジェクト」、パートナーシップ宣誓制度実施を受け企業への助言指導、性被害やジェンダーによる差別をなくす新事業が実施へ。

2023年第1回都議会定例(予算議会)2月15日開会～3月24日閉会